

日本共産党の久保田かずえ町議は、九月定例町議会で、玄海原発等の事故に対する対応と、川棚町地域防災計画について一般質問を行いました。

玄海原発事故時には松浦市から5千人が避難 町は万全の受け入れ体制を

東京電力福島第一原発の事故から4年半。放射能汚染水が海洋に拡散するなど、原発事故は収束どころか今なお進行中。原発事故で10万人余の方々が今だに避難生活を強いられています。

一方、政府と電力各社は、福島島の事故がまるでなかったかのように、8月には鹿児島県川内原発1号機を、9月には2号機を再稼働させました。

久保田かずえ町議は川棚町が九電・玄海原発の事故時の松浦市民の避難先となっていることについて質問しました。



久保田かずえ町議

うスタンス。町で積極的に講じるところまでできていない。

久保田町議

児童生徒の学業に支障のないように、各学校との連携は十分ですか。

町長

文教対策計画に記載があり、県の計画に基づいて県や市町の教育委員会、学校間、関係部署が連携して対処する。

久保田町議

町は指示待ちの体制しかできていないと言う事。県をもっと動かすべきでは。児童生徒の受け入れについて、本町の小学校にどのように受け入れるか、今から考えておくべきではないですか。

町長

本町の学校運営に支障があると言う事は十分理解している。

教育委員会と連携しながら今後対応していく。



2015年1月の避難訓練
写真手前が松浦市民

はきていない、と言う事でした。動き出すべきではないですか

町長

県は、コンビニとは災害時の応援協定は結んでおり、それに基づいて対応できると理解している。町は、エレナさんや、ユートクさんと提携している。

久保田町議

コンビニでは、糖尿病などの疾病のある方には対応できるが、離乳食については難しいと言う事でした。万全と言えますか。

町長

今後検討していく。

久保田町議

避難が長期化した時の住居の準備はどうなっていますか。

町長

公営住宅や借り上げの民間住宅が長期間無償で被災者に提供され、その経費についても国が負担したと聞いている。同様の対応がなされると考える。

久保田町議

避難の長期化を見込んで、避難収容施設への太陽光発電パネルの設置を県に要望する考えはありませんか。

ウラに続く